

Hello. $\frac{I}{S} \frac{am}{V} \frac{Tom.}{C}$

こんにちは。ぼくはトムです。

- I が S (主語)、am が V (動詞)、Tom が C (補語) です。
- I = Tom の関係です。

$\frac{I'm}{S V} \frac{(from\ America).}{C}$

ぼくはアメリカ出身です。

- I が S (主語)、am ('m) が V (動詞) です。
- from America は修飾語で副詞のはたらきです。

「アメリカから」という意味をもち、動詞 am の場所 (出身地) を説明しています。

※構造を単純化するために、修飾語と見なしています。

$\frac{I'm}{S V} \frac{a\ baseball\ fan.}{C}$

ぼくは野球ファンです。

- I が S (主語)、am ('m) が V (動詞)、a baseball fan が C (補語) です。
- I = a baseball fan の関係です。

$\frac{I}{S} \frac{am\ not}{V} \frac{a\ baseball\ player.}{C}$

ぼくは野球選手ではありません。

- I が S (主語)、am not が V (動詞)、a baseball player が C (補語) です。
- 否定の not によって、I = a baseball player ではないことを示しています。

Are you a baseball player?
V S C

あなたは野球選手ですか。

- you が S (主語)、 Are が V (動詞)、 a baseball player が C (補語) です。
- 疑問文の形で、you = a baseball player であるかを問うています。

I like music.
S V O

ぼくは音楽が好きです。

- I が S (主語)、 like が V (動詞)、 music が O (目的語) です。
- like が主語の感情や嗜好を示し、目的語 music がその対象を具体的に説明しています。

I can sing (well).
S V

ぼくは上手に歌うことができます。

- I が S (主語)、 can sing が V (動詞) です。
- can は助動詞で、「～できる」という意味をもちます。
ここでは助動詞もまとめて V (動詞) と考えます。
- well は副詞です。「上手に」という意味をもち、どのように歌うかを説明しています。

I can't play the piano.
S V O

ぼくはピアノをひくことができません。

○ I が S (主語)、 can't play が V (動詞)、 the piano が O (目的語) です。

○ can't は助動詞で、「できない」という意味をもちます。

ここでは助動詞もまとめて V (動詞) と考えます。

Do you play the piano?
S O
V

あなたはピアノをひきますか。

○ you が S (主語)、 (Do ~) play が V (動詞)、 the piano が O (目的語) です。

○ Do は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。

play の有無をたずねる文になっています。

I have two cats.
S V O

ぼくはネコを2匹飼っています。

○ I が S (主語)、 have が V (動詞)、 two cats が O (目的語) です。

○ have が所有を示し、目的語 two cats が具体的な所有物を説明しています。

I don't have a dog.
S V O

ぼくはイヌを飼っていません。

- I が S (主語)、 don't have が V (動詞)、 a dog が O (目的語) です。
- don't have は所有の否定を示し、目的語 a dog を持っていない状態を説明しています。

I want a dog.
S V O

ぼくはイヌがほしいです。

- I が S (主語)、 want が V (動詞)、 a dog が O (目的語) です。
- want が主語の希望を示し、目的語 a dog がその対象を具体的に説明しています。

How many pets do you have?
O S
V

あなたはペットを何匹飼っていますか。

- you が S (主語)、 have が V (動詞)、 How many pets が O (目的語) です。
- do は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- How many pets は「いくつ (何匹) のペット」を表す疑問詞で、この文では have の目的語に相当します。

Hi, everyone. I'm Miku.

こんにちは、みなさん。私はミクです。

- I が S (主語)、 am('m) が V (動詞)、 Miku が C (補語) です。
- I = Miku の関係です。

I (often) play sports (in this gym).

私はこの体育館でよくスポーツをします。

- I が S (主語)、 play が V (動詞)、 sports が O (目的語) です。
- play が主語の行為 (すること) を表し、目的語 sports がその対象を具体的に説明しています。
- in this gym は修飾語で副詞のはたらきです。
「この体育館で」という意味をもち、動詞 play の場所を説明しています。
- often は副詞です。「よく (～する)」という意味をもち、頻度を説明しています。

This is Saki.
S V C

こちらはサキです。

- This が S (主語)、 is が V (動詞)、 Saki が C (補語) です。
- This = Saki の関係です。

She is a good basketball player.
S V C

彼女は上手なバスケットボール選手です。

- She が S (主語)、 is が V (動詞)、 a good basketball player が C (補語) です。
- She = a good basketball player の関係です。

この She は前の文で紹介された Saki を指しています。

That is Mr. Nakata, my P.E. teacher.
S V C Mr. Nakata と同格

あちらは私の体育の先生の中田先生です。

- That が S (主語)、 is が V (動詞)、 Mr. Nakata が C (補語) です。
- That = Mr. Nakata の関係です。
- my P.E. teacher は Mr. Nakata を説明する同格表現です。

「That is Mr. Nakata.」「He is my P.E. teacher.」と 2 つの文に分けても意味は通じますが、同格表現を使うことで、1 つの文にまとめて情報を提供できます。

He can play volleyball (well).
S V O

彼は上手にバレーボールをすることができます。

○ He が S (主語)、 can play が V (動詞)、 volleyball が O (目的語) です。

この He は前の文で紹介された Mr. Nakata を指しています。

○ play が主語の行為 (すること) を表し、目的語 volleyball がその対象を具体的に説明しています。

○ well は副詞です。「上手に」という意味をもち、動詞 play を修飾しています。

Which do you like, basketball or volleyball?
O S V A or B で「A または B」

あなたはバスケットボールとバレーボールのどちらが好きですか。

○ you が S (主語)、 do ~ like が V (動詞)、 Which が O (目的語) です。

○ Which は疑問詞で、「どちら?」という意味をもちます。

ここでは、動詞 like の目的語となっています。

○ basketball or volleyball はカンマ (,) を用いて Which の内容を補足します。

「バスケットボールかバレーボール」の選択肢を提示しています。

Oh, I see another student (over there).

おや、あそこにもう1人生徒が見えます。

- I が S (主語)、 see が V (動詞)、 another student が O (目的語) です。
- see が主語の行為 (すること) を表し、目的語 another student がその対象を具体的に説明しています。
- over there は修飾語で副詞のはたらきです。

「向こうに (あそこに)」という意味をもち、動詞 see の場所を説明しています。

Is that is your friend?

あちらはあなたの友達ですか。

- that が S (主語)、 is が V (動詞)、 your friend が C (補語) です。
- 疑問文の形で、that = your friend であるかを問うています。

この that は前の文で紹介された another student を指しています。

Hi, I'm Kate.

こんにちは、私はケイトです。

- I が S (主語)、 am('m) が V (動詞)、 Kate が C (補語) です。
- I = Kate の関係です。

Look (at this picture).

この写真を見てください。

- 命令文です。命令文では通常、主語 you が省略されます。Look が V (動詞) です。
- at this picture は修飾語で副詞のはたらきです。

「この写真を」という意味をもち、動詞 Look の対象を説明しています。

※構造を単純化するために、修飾語と見なしています。

This is my brother, Ben.

これは私の兄[弟]のベンです。

- This が S (主語)、 is が V (動詞)、 my brother が C (補語) です。
- This = my brother の関係です。
- Ben は my brother を説明する同格表現です。

「This is my brother.」「His name is Ben.」と 2 つの文に分けても意味は通じますが、同格表現を使うことで、1 つの文にまとめて情報を提供できます。

He is a singer.
S V C

彼は歌手です。

- He が S (主語)、 is が V (動詞)、 a singer が C (補語) です。
- He = a singer の関係です。この He は前の文で紹介された Ben を指しています。

Do you know him?
S V O

あなたは彼を知っていますか。

- you が S (主語)、 (Do ~) know が V (動詞)、 him が O (目的語) です。
この him は前の文で紹介された Ben を指しています。
- Do は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
know の有無をたずねる文になっています。

His voice is (really) nice.
S V C

彼の声は本当にすてきです。

- His voice が S (主語)、 is が V (動詞)、 nice が C (補語) です。
- His voice = nice の関係です。
この his は前の文で紹介された Ben を指しています。
- really は副詞です。「本当に」という意味をもち、形容詞 nice を修飾しています。

I have another picture.
S V O

私は写真をもう1枚持っています。

- I が S (主語)、 have が V (動詞)、 another picture が O (目的語) です。
- have が所有を示し、目的語 another picture が具体的な所有物を説明しています。

Look. This is my cousin, Lily.
V S V C my cousin と同格

見てください。これは私のいとこのリリーです。

- 命令文では通常、主語 you が省略されます。Look が V (動詞) です。
- This が S (主語)、 is が V (動詞)、 my cousin が C (補語) です。
- This = my cousin の関係です。
- Lily は my cousin を説明する同格表現です。

「This is my cousin.」「Her name is Lily.」と2つの文に分けても意味は通じますが、同格表現を使うことで、1つの文にまとめて情報を提供できます。

She is a pianist.
S V C

彼女はピアニストです。

- She が S (主語)、 is が V (動詞)、 a pianist が C (補語) です。
- She = a pianist の関係です。

この She は前の文で紹介された Lily を指しています。

| She can write good songs.
S V O |

彼女はよい歌を書くことができます。

- She が S (主語)、 can write が V (動詞)、 good songs が O (目的語) です。
- can は助動詞で、「できる」という意味をもちます。

ここでは助動詞もまとめて V (動詞) と考えます。

| Ben and Lily (sometimes) have a concert (in our city).
S V O |

ベンとリリーはときどき、私たちの市でコンサートを開きます。

- Ben and Lily が S (主語)、 have が V (動詞)、 a concert が O (目的語) です。
- in our city は修飾語で副詞のはたらきです。

「私たちの都市で」という意味をもち、動詞 have の場所を説明しています。

- sometimes は副詞です。「ときどき」という意味をもち、動詞 have の頻度を説明しています。

Let's go (to their next concert) (together).
V

彼らの次のコンサートにいっしょに行きましょう。

○ Let's go が V (動詞) です。

○ Let's は Let us の短縮形です。

「～しましょう」という意味をもち、相手を誘う、勧誘の命令文になります。

○ to their next concert は修飾語で副詞のはたらきです。

「彼らの次のコンサートへ」という意味をもち、動詞 go の目的地を説明しています。

○ together は副詞です。「一緒に」という意味をもち、文全体を修飾しています。

I'm Yuto.
S V C

ぼくはユウトです。

- I が S (主語)、 am('m) が V (動詞)、 Yuto が C (補語) です。
- I = Yuto の関係です。

Who cooks dinner (in your family)?
S V O

あなたの家族ではだれが夕食を作りますか。

- Who が S (主語)、 cooks が V (動詞) 、 dinner が O (目的語) です。
- Who は疑問詞で、「誰?」という意味をもちます。ここでは、主語の働きをしています。
- in your family は修飾語で副詞のはたらきです。

「あなたの家族では」という意味をもち、動詞 cooks の場所を説明しています。

He goes (to a cooking school) and studies (there).
S V V

彼は料理学校に行つて、そこで学んでいます。

① He goes to a cooking school

- He が S (主語)、 goes が V (動詞) です。
- to a cooking school は修飾語で副詞のはたらきです。

「料理学校に」という意味をもち、動詞 goes の行き先を説明しています。

② and studies there.

- studies が V (動詞) です。
- 接続詞 and でつながれた2つの動詞(「goes」と「studies」)が同じ主語(He)を共有している形です。
- there は副詞です。「そこで」という意味をもち、動詞 studies を修飾しています。

What kind of food does he cook?
O S V

彼は何の種類の食べ物を作らうでしょうか。

- he が S (主語)、 (does ~) cook が V (動詞)、 What kind of food が O (目的語) です。
- does は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- What kind of food は「何の種類の食べ物」を表す疑問詞で、この文では cook の目的語に相当します。

He (often) cooks Japanese food.

S V O

彼はよく日本食を作ります。

- He が S (主語)、 cooks が V (動詞)、 Japanese food が O (目的語) です。
- often は副詞です。「しばしば」という意味をもち、動詞 cooks を修飾しています。

His oyako-don is delicious.

S V C

彼の親子丼はとてもおいしいです。

- His oyako-don が S (主語)、 is が V (動詞)、 delicious が C (補語) です。
- His oyako-don = delicious の関係です。

He can cook Japanese food (well), but he can't make sweets (well).

S V O S V O

彼は日本食を上手に作るができますが、スイーツを上手に作ることはできません。

① He can cook Japanese food well,

- He が S (主語)、 can cook が V (動詞)、 Japanese food が O (目的語) です。
- well は副詞です。「上手に」という意味をもち、動詞 cook を修飾しています。

② but he can't make sweets well.

- he が S (主語)、 can't make が V (動詞)、 sweets が O (目的語) です。
- well は副詞です。「上手に」という意味をもち、動詞 make を修飾しています。
- 接続詞 but でつながれた2つの文は、対等に逆の意味で結ばれています。

He practices (every weekend).
S V

彼は毎週末練習しています。

- He が S (主語)、 practices が V (動詞) です。
- every weekend は修飾語で副詞のはたらきです。

「毎週末に」という意味をもち、動詞 practices の時を説明しています。

Why does he do that?
なぜ S O
V

なぜ練習するのでしょうか。

- he が S (主語)、 do が V (動詞)、 that が O (目的語) です。
- does は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- Why は「なぜ」を表す疑問詞で、それをする (練習する) 理由をたずねています。

He is a lover of sweets!
S V C

彼はスイーツの愛好者なのです。

- He が S (主語)、 is が V (動詞)、 a lover of sweets が C (補語) です。
- He = a lover of sweets の関係です。
- of sweets は修飾語で形容詞のはたらきです。 a lover を説明しています。

Look (at these three pictures).
V

これらの3枚の写真を見なさい。

- 命令文です。命令文では通常、主語 you が省略されます。Look が V (動詞) です。
- at these three pictures は修飾語で副詞のはたらきです。

「これらの3枚の写真を」という意味をもち、動詞 look を修飾し、「何を見るか」を説明しています。

They are my friends <in Australia> .
S V C

彼らは、オーストラリアにいる私の友達です。

- They が S (主語)、 are が V (動詞)、 my friends が C (補語) です。
- in Australia は修飾語で形容詞のはたらきです。 my friends を説明しています。
- この They は前の文で紹介された「3枚の写真に写っている人たち」を指しています。

This is Mike.
S V C

こちらはマイクです。

- This が S (主語)、 is が V (動詞)、 Mike が C (補語) です。
- This = Mike の関係です。

He is playing baseball.

彼は野球をしています。

- He が S (主語)、 is playing が V (動詞)、 baseball が O (目的語) です。

He likes baseball (very much).

彼は野球がとても好きです。

- He が S (主語)、 likes が V (動詞)、 baseball が O (目的語) です。
- very much は修飾語で副詞のはたらきです。

「とても」という意味をもち、動詞 likes の程度を説明しています。

He is a good baseball player.

彼は上手な野球選手です。

- He が S (主語)、 is が V (動詞)、 a good baseball player が C (補語) です。
- He = a good baseball player の関係です。

This is Sam.

こちらはサムです。

- This が S (主語)、 is が V (動詞)、 Sam が C (補語) です。
- This = Sam の関係です。

He is playing the piano.
S V O

彼はピアノをひいています。

- He が S (主語)、is playing が V (動詞)、the piano が O (目的語) です。

He (also) sings songs (well).
S V O

彼はまた、上手に歌を歌います。

- He が S (主語)、sings が V (動詞)、songs が O (目的語) です。
- also は副詞です。「～もまた」という意味をもち、文全体を修飾しています。
- well は副詞です。「上手に」という意味をもち、動詞 sings を修飾しています。

This girl is Kate.
S V C

この少女はケイトです。

- This girl が S (主語)、is が V (動詞)、Kate が C (補語) です。
- This girl = Kate の関係です。

She is cooking.
S V

彼女は料理をしています。

- She が S (主語)、is cooking が V (動詞) です。

| She makes cookies (for my birthday) (every year).
S V O |

彼女は毎年、私の誕生日にクッキーを作ります。

○ She が S (主語)、 makes が V (動詞)、 cookies が O (目的語) です。

○ for my birthday は修飾語で副詞のはたらきです。

「私の誕生日のために」という意味をもち、動詞 makes を修飾し、目的を説明しています。

○ every year は修飾語で副詞のはたらきです。

「毎年」という意味をもち、動詞 makes を修飾し、「いつクッキーを作るか」を説明しています。

| Her cookies are (very) good.
S V C |

彼女のクッキーはとてもおいしいです。

○ Her cookies が S (主語)、 are が V (動詞)、 good が C (補語) です。

○ very は副詞です。「とても」という意味をもち、形容詞 good を強調しています。

Ken practiced soccer (with his brother) (in the morning).
S V O

朝、ケンはお兄さん[弟さん]とサッカーを練習しました。

○ Ken が S (主語)、 practiced が V (動詞)、 soccer が O (目的語) です。

○ with his brother は修飾語で副詞のはたらきです。

「彼の兄 [弟] と一緒に」という意味をもち、動詞 practiced を修飾し、「誰と練習したのか」を説明しています。

○ in the morning は修飾語で副詞のはたらきです。

「朝に」という意味をもち、動詞 practiced を修飾し、「いつ練習したのか」を説明しています。

(Then) he and his father visited a museum <near his school> .
S V O

それから、彼と彼の父親は、学校の近くの博物館を訪れました。

○ he and his father が S (主語)、 visited が V (動詞)、 a museum が O (目的語) です。

○ near his school は修飾語で形容詞のはたらきです。

「学校の近くの」という意味をもち、 a museum を修飾しています。

○ Then は副詞です。「それから」という意味をもち、文全体を修飾しています。

They looked (at many old clocks) (there).
S V

そこで、彼らはたくさんの古い時計を見ました。

- They が S (主語)、looked が V (動詞) です。
- at many old clocks は修飾語で副詞のはたらきです。

「たくさんの古い時計を」という意味をもち、動詞 looked を修飾し、「何を見たか」を説明しています。

They arrived (home) (at five).
S V

彼らは、5時に家に到着しました。

- They が S (主語)、arrived が V (動詞) です。
- home は副詞です。「家に」という意味をもち、動詞 arrived を修飾し、「どこに到着したか」を説明しています。
- at five は修飾語で副詞のはたらきです。

「5時に」という意味をもち、動詞 arrived を修飾し、「いつ到着したか」を説明しています。

(After dinner), he washed the dishes (with his sister), and

and や but などの接続詞(等位接続詞)を使って作られた文を重文とよぶ。重文には主語と動詞が2組以上ある。

they talked (about some movies).

夕食後、彼はお姉さん[妹さん]と皿を洗い、そして彼らは、いくつかの映画について話しました。

① After dinner,

○ 修飾語で副詞のはたらきです。

「夕食のあとで」という意味をもち、文全体を修飾しています。

② he washed the dishes with his sister,

○ he が S (主語)、washed が V (動詞)、the dishes が O (目的語) です。

○ with his sister は修飾語で副詞のはたらきです。

「彼の姉 [妹] と一緒に」という意味をもち、動詞 washed を修飾し、「誰と皿洗いをしたのか」を説明しています。

③ and they talked about some movies.

○ they が S (主語)、talked が V (動詞) です。この they は、= he and his sister です。

○ about some movies は修飾語で副詞のはたらきです。

「いくつかの映画について」という意味をもち、動詞 talked を修飾し、「何について話したか」を説明しています。

○ and は、前の文「he washed...」と後ろの文「they talked...」を対等な関係で結びつけています。

(After that), he studied English (in his room).
 s v o

その後、彼は部屋で英語を勉強しました。

① After that,

○ 修飾語で副詞のはたらきです。

「そのあと」という意味をもち、文全体を修飾しています。

② he studied English in his room.

○ he が S (主語)、studied が V (動詞)、English が O (目的語) です。

○ in his room は修飾語で副詞のはたらきです。

「彼の部屋で」という意味をもち、動詞 studied を修飾し、「どこで勉強したのか」を説明しています。

I'm Kana.
S V C

私はカナです。

- I が S (主語)、 am('m) が V (動詞)、 Kana が C (補語) です。
- I = Kana の関係です。

I went (to the zoo) (with my mother) (last Saturday).
S V

私はこの前の土曜日、母と動物園に行きました。

- I が S (主語)、 went が V (動詞) です。
- to the zoo は修飾語で副詞のはたらきです。
「動物園へ」という意味をもち、動詞 went を修飾し、目的地を説明しています。
- with my mother は修飾語で副詞のはたらきです。
「母と一緒に」という意味をもち、動詞 went を修飾しています。
- last Saturday は修飾語で副詞のはたらきです。
「先週の土曜日に」という意味をもち、動詞 went を修飾し、「いつ行ったか」を説明しています。

My father took part (in a volunteer activity) (on that day),

S

V

so は接続詞、「だから」という意味で文をつなぐ

so he didn't come (with us).

S

V

父はその日ボランティア活動に参加したため 私たちといっしょに来ませんでした。

① My father took part in a volunteer activity on that day,

○ My father が S (主語)、 took part が V (動詞) です。

○ in a volunteer activity は修飾語で副詞のはたらきです。

「ボランティア活動に」という意味をもち、took part を修飾し、「何に参加したか」を説明しています。

○ on that day は修飾語で副詞のはたらきです。

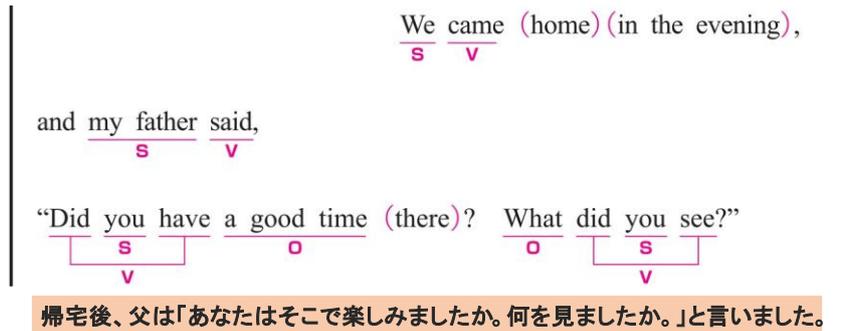
「その日に」という意味をもち、took part を修飾し、「いつ参加したか」を説明しています。

② so he didn't come with us.

○ he が S (主語)、 didn't come が V (動詞) です。

○ with us は修飾語で副詞のはたらきです。

「私たちと一緒に」という意味をもち、動詞 come を修飾しています。



① We came home in the evening,

- We が S (主語)、 came が V (動詞) です。
- home は副詞です。「家に」という意味をもち、 came の目的地を示しています。
- in the evening は修飾語で副詞のはたらきです。 came を修飾し、「いつ帰宅したか」を説明しています。

② and my father said,

- my father が S (主語)、 said が V (動詞) です。
- 接続詞 and で結ばれた2つの文「We came...」と「my father said...」は、対等に並列されています。

③ Did you have a good time there?

- you が S (主語)、 (Did ~) have が V (動詞)、 a good time が O (目的語) です。
- there は副詞です。「そこで」という意味をもち、動詞 have を修飾しています。

④ What did you see?

- you が S (主語)、 see が V (動詞)、 What が O (目的語) です。
- did は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- What は「何を」を表す疑問詞で、この文では see の目的語に相当します。

I answered, "I had a very good time. I saw many animals.
S V S V O S V O

A zoo staff member told some interesting things <about elephants>
S V O

(to us).

私は言いました。「私はとても楽しみました。私は多くの動物を見ました。動物園の職員がゾウについておもしろいことを私たちに教えてくれました」

① I answered,

○ I が S (主語)、 answered が V (動詞) です。

② I had a very good time.

○ I が S (主語)、 had が V (動詞)、 a very good time が O (目的語) です。

③ I saw many animals.

○ I が S (主語)、 saw が V (動詞)、 many animals が O (目的語) です。

④ A zoo staff member told some interesting things about elephants to us.

○ A zoo staff member が S (主語)、 told が V (動詞)、 some interesting things が O (目的語) です。

○ about elephants は修飾語で形容詞のはたらきです。

「象について」という意味をもち、 some interesting things の内容を説明しています。

○ to us は修飾語で副詞のはたらきです。

「私たちに」という意味をもち、動詞 told を修飾し、「誰に話すのか」を説明しています。

He said, 'Many animals can jump,
S V S V
but elephants can't jump.'
S V

彼は『多くの動物はジャンプできますがゾウはジャンプできません』と言いました。

① He said,

- He が S (主語)、 said が V (動詞) です。
- He は、この文では A zoo staff member を指しています。

② Many animals can jump, but elephants can't jump.

▶ Many animals can jump,

- Many animals が S (主語)、 can jump が V (動詞) です。

▶ but elephants can't jump.

- elephants が S (主語)、 can't jump が V (動詞) です。

Did you know that?"
S V O that は前の文で述べた内容を指す。
ここでは「ゾウは多くの動物と違いジャンプできないこと」

あなたはそのことを知っていましたか。

- you が S (主語)、 (Did ~) know が V (動詞)、 that が O (目的語) です。
- Did は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- you は、この文では my father (=Kana のお父さん) を指しています。

My name is Lisa Green.
S V C

私の名前はリサ・グリーンです。

- My name が S (主語)、 is が V (動詞)、 Lisa Green が C (補語) です。
- My name = Lisa Green の関係です。

I was (in Japan) (about ten years ago).
S V

私は約 10 年前、日本にいました。

- I が S (主語)、 was が V (動詞) です。
- in Japan は修飾語で副詞のはたらきです。
「日本に」という意味をもち、「どこにいたか (場所)」を説明しています。
- about ten years ago は修飾語で副詞のはたらきです。
「約 10 年前」という意味をもち、「いつ日本にいたか」の説明を加えています。

I was an English teacher (at a junior high school).
S V C

私は中学校の英語の先生でした。

- I が S (主語)、 was が V (動詞)、 an English teacher が C (補語) です。
- I = an English teacher の関係です。
- at a junior high school は修飾語で副詞のはたらきです。
「中学校で」という意味をもち、動詞 was を修飾し、「どこで英語の先生だったか」を説明しています。

I visited a lot of places.
S V O

私はたくさんの場所を訪れました。

- I が S (主語)、 visited が V (動詞)、 a lot of places が O (目的語) です。

I like the beautiful nature <in Japan>.
S V O

私は、日本の美しい自然が好きです。

- I が S (主語)、 like が V (動詞)、 the beautiful nature が O (目的語) です。
- in Japan は修飾語で形容詞のはたらきです。

「日本の」という意味をもち、 the beautiful nature を修飾しています。

The view <from the top <of Mt. Fuji>> was wonderful.
S V C

富士山の頂上からの景色はすばらしかったです。

- The view が S (主語)、 was が V (動詞)、 wonderful が C (補語) です。
- The view = wonderful の関係です。
- from the top of Mt. Fuji は修飾語で形容詞のはたらきです。

「富士山の頂上からの」という意味で、 the view を説明しています。

- of Mt. Fuji は修飾語で形容詞のはたらきです。

「富士山の」という意味で、 the top を説明しています。

I'm Yumi.
S V C

私はユミです。

- I が S (主語)、am('m) が V (動詞)、Yumi が C (補語) です。
- I = Yumi の関係です。

I went (to the zoo) (with my family) (last Sunday).
S V

私はこの前の日曜日に家族と動物園に行きました。

- I が S (主語)、went が V (動詞) です。
- to the zoo は修飾語で副詞のはたらきです。
「動物園へ」という意味をもち、動詞 went を修飾しています。
- with my family は修飾語で副詞のはたらきです。
「家族と一緒に」という意味をもち、動詞 went を修飾しています。
- last Sunday は修飾語で副詞のはたらきです。
「先週の日曜日に」という意味をもち、動詞 went を修飾しています。

I saw a lot of animals (there).
S V O

そこで、私はたくさんの動物を見ました。

- I が S (主語)、 saw が V (動詞)、 a lot of animals が O (目的語) です。
- there は副詞です。「そこで」という意味をもち、動詞 saw を修飾しています。

We got (there) (at one o'clock).
S V

私たちはそこに 1 時に着きました。

- We が S (主語)、 got が V (動詞) です。
 - there は副詞です。「そこに」という意味をもち、動詞 got を修飾しています。
 - at one o'clock は修飾語で副詞のはたらきです。
- 「1 時に」という意味をもち、動詞 got を修飾しています。

It was lunchtime <for monkeys> .
S V C

サルたちのお昼ごはんの時間でした。

- It が S (主語)、 was が V (動詞)、 lunchtime が C (補語) です。
- for monkeys は修飾語で形容詞のはたらきです。

「サルたちにとって」という意味をもち、 lunchtime を修飾しています。

They were eating apples.
S V O

彼らはリンゴを食べていました。

- They が S (主語)、 were eating が V (動詞)、 apples が O (目的語) です。
- They は、この文では前の文の monkeys を指しています。

The pandas were sleeping.
S V

パンダたちは眠っていました。

- The pandas が S (主語)、 were sleeping が V (動詞) です。

The elephants were playing (with a ball).
S V

ゾウたちはボールで遊んでいました。

- The elephants が S (主語)、 were playing が V (動詞) です。
- with a ball は修飾語で副詞のはたらきです。

「ボールで」という意味をもち、動詞 were playing を修飾し、「何で遊んでいたか」を説明しています。

My favorite animal is the polar bear.
S V C

私のお気に入りの動物はシロクマです。

- My favorite animal が S (主語)、 is が V (動詞)、 the polar bear が C (補語) です。
- My favorite animal = the polar bear の関係です。

A baby bear was swimming.
S V

赤ちゃんグマが泳いでいました。

- A baby bear が S (主語)、 was swimming が V (動詞) です。

It was (very) cute.
S V C

とてもかわいかったです。

- It が S (主語)、 was が V (動詞)、 cute が C (補語) です。
- very は副詞です。「とても」という意味をもち、形容詞 cute を修飾しています。
- It = cute の関係です。
- It は、この文では前の文の A baby bear を指しています。

It's September 5 (today).
S V C

今日は9月5日です。

- It が S (主語)、 is が V (動詞)、 September 5 が C (補語) です。
- it は形式上の主語で、日付を説明するために使われています。
- today は副詞です。「今日」という意味をもち、文全体を修飾しています。

It's Sunday.
S V C

日曜日です。

- It が S (主語)、 is が V (動詞)、 Sunday が C (補語) です。
- it は形式上の主語で、「曜日」を指すために使われています。

Ken (usually) gets up (at seven), but (on Sundays) he gets up
S V S V
(at nine).

ケンはいよいよ7時に起きますが、日曜日には、9時に起きます。

① Ken usually gets up at seven,

- Ken が S (主語)、 gets up が V (動詞) です。
- usually は副詞です。「たいてい」という意味をもち、gets up を修飾しています。
- at seven は修飾語で副詞のはたらきです。

「7時に」という意味をもち、gets up を修飾しています。

(After lunch), he plays soccer (with his friends) (in the park).

昼食後、公園で友達とサッカーをします。

① After lunch,

○ 修飾語で副詞のはたらきです。

「昼食のあとに」という意味をもち、文全体を修飾しています。

② he plays soccer with his friends in the park.

○ he が S (主語)、plays が V (動詞)、soccer が O (目的語) です。

○ with his friends は修飾語で副詞のはたらきです。

「友達といっしょに」という意味をもち、動詞 plays を修飾し、「誰とサッカーをするか」を説明しています。

○ in the park は修飾語で副詞のはたらきです。

「公園で」という意味をもち、動詞 plays を修飾し、「どこでサッカーをするか」を説明しています。

He comes (home) (at five) and plays the piano (before dinner).

5時に帰宅し、そして夕食前にピアノをひきます。

① He comes home at five

- He が S (主語)、 comes が V (動詞) です。
- home は副詞です。「家に」という意味をもち、動詞 comes を修飾し、「どこに帰るか」を説明しています。
- at five は修飾語で副詞のはたらきです。

「5時に」という意味をもち、動詞 comes を修飾し、「いつに帰るか」を説明しています。

② and plays the piano before dinner.

- plays が V (動詞)、 the piano が O (目的語) です。
- 接続詞 and によって、2つの動詞 (comes と plays) が同じ主語 He にかかっています。
- before dinner は修飾語で副詞のはたらきです。

「夕食の前に」という意味をもち、plays の時間を説明しています。

He has dinner (at seven).

7時に夕食を食べます。

- He が S (主語)、 has が V (動詞)、 dinner が O (目的語) です。
- at seven は修飾語で副詞のはたらきです。

「7時に」という意味をもち、動詞 has を修飾し、「いつ食べるか」を説明しています。

He watches TV (with his sister) and goes (to bed) (at ten).

お姉さん[妹さん]とテレビを見て、そして 10 時に寝ます。

① He watches TV with his sister

- He が S (主語)、watches が V (動詞)、TV が O (目的語) です。
- with his sister は修飾語で副詞のはたらきです。

「姉(妹)といっしょに」という意味をもち、動詞 watches を修飾し、「誰と TV を見るか」を説明しています。

② and goes to bed at ten.

- goes が V (動詞) です。
- 接続詞 and によって、2つの動詞 (watches と goes) が同じ主語 He にかかっています。
- to bed は修飾語で副詞のはたらきです。

「ベッドへ」という意味をもち、goes の場所を説明しています。

- at ten は修飾語で副詞のはたらきです。

「10時に」という意味をもち、動詞 goes を修飾し、「いつ寝るか」を説明しています。

Do you know (about “April Fools’ Day”)?

S
V

あなたはエイプリルフールについて知っていますか。

- you が S (主語)、 know が V (動詞) です。
- do は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- about “April Fools’ Day” は修飾語で副詞のはたらきです。

「エイプリルフールについて」という意味をもち、動詞 know を修飾し、「何について知っているか」を説明しています。

It is a popular event (around the world).

S V C

それは世界中で人気のあるイベントです。

- It が S (主語)、 is が V (動詞)、 a popular event が C (補語) です。
- It = a popular event の関係です。この It は April Fools’ Day を指しています。
- around the world は修飾語で副詞のはたらきです。

「世界中で」という意味をもち、動詞 is を修飾し、場所の情報を説明しています。

(Second), let's tell the truth (soon after).
 V O

第二に、すぐに真実を伝えましょう。

① Second,

○ 副詞です。「第二に」という意味をもち、文全体を修飾し、順序を表しています。

② let's tell the truth soon after.

○ let's tell が V (動詞)、 the truth が O (目的語) です。

○ let's は Let us の短縮形です。

「～しましょう」という意味をもち、提案や勧誘の命令文になります。

○ soon after は修飾語で副詞のはたらきです。

「すぐあとで」という意味をもち、動詞 tell を修飾し、「いつ伝えるか」を説明しています。

(Finally), let's enjoy the event (with our families or friends)!

接続詞 or

V O

最後に、家族や友達とそのイベントを楽しみましょう

① Finally,

○ 副詞です。「最後に」という意味をもち、文全体を修飾しています。

② let's enjoy the event with our families or friends.

○ let's enjoy が V (動詞)、 the event が O (目的語) です。

○ let's は Let us の短縮形です。

「～しましょう」という意味をもち、提案や勧誘の命令文になります。

○ with our families or friends は修飾語で副詞のはたらきです。

「家族や友達と一緒に」という意味をもち、動詞 enjoy を修飾し、「誰と楽しむか」を説明しています。

I'm Ken.
S V C

ぼくはケンです。

- I が S (主語)、 am('m) が V (動詞)、 Ken が C (補語) です。
- I = Ken の関係です。

I'm (at Jack's house) (now).
S V

今、ジャックの家にいます。

- I が S (主語)、 am('m) が V (動詞) です。
- at Jack's house は修飾語で副詞のはたらきです。
「ジャックの家に」という意味をもち、動詞 am を修飾し、「どこにいるか」を説明しています。
- now は副詞です。「今」という意味をもち、文全体を修飾しています。

His family likes music.
S V O

彼の家族は音楽が好きです。

- His family が S (主語)、 likes が V (動詞)、 music が O (目的語) です。

I can see three guitars (here).
S V O

ここに、ギターが3本見えます。

- I が S (主語)、 can see が V (動詞)、 three guitars が O (目的語) です。
- here は副詞です。「ここに」という意味をもち、動詞 see を修飾し、「どこで見られるか」を説明しています。

I ask him,
S V O

one は前に出てきた単数のもの。ここでは「ギター」

“Whose guitar is the red one?”
C V S

ぼくは「その赤いのはだれのギターですか。」と彼に聞きます。

① I ask him,

- I が S (主語)、 ask が V (動詞)、 him が O (目的語) です。

② Whose guitar is the red one?

- the red one が S (主語)、 is が V (動詞)、 Whose guitar が C (補語) です。
- Whose guitar は疑問詞で、「誰のギター？」という意味をもちます。

ここでは、補語として the red one = Whose guitar となり、「赤いギターの持ち主」をたずねています。

He answers, "It's my sister's."
S V SV C

彼は「それはぼくの姉[妹]のです。」と答えます。

① He answers,

○ He が S (主語)、 answers が V (動詞) です。

② "It's my sister's."

○ It が S (主語)、 is が V (動詞)、 my sister's が C (補語) です。

○ my sister's のあとに、 guitar が省略されています。

I say, "When do you play the guitar? Which one is your guitar?"
S V いつ S O S V C

ぼくは「あなたはいつギターをひきますか あなたのギターはどれですか。」と言います。

① I say,

○ I が S (主語)、 say が V (動詞) です。

② "When do you play the guitar?"

○ you が S (主語)、 (do ~) play が V (動詞)、 the guitar が O (目的語) です。

○ do は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。

○ When は疑問詞で、「いつ？」という意味をもちます。

この文では動詞 play を修飾し、「いつギターをひくか」をたずねています。

③ "Which one is your guitar?"

○ Which one が S (主語)、 is が V (動詞)、 your guitar が C (補語) です。

○ Which one は疑問詞で、「どの 1 つか？」という意味をもちます。

ここでは、主語として Which one = your guitar となり、「あなたのギターがどれか」をたずねています。

<p>He replies, "I (usually) play it (on Sundays). These three guitars <u>S</u> <u>V</u> <u>S</u> <u>V</u> <u>O</u> <u>S</u> mine は I の所有代名詞で「ぼくのもの」という意味。 <u>are not mine.</u> <u>V</u> <u>C</u></p>
--

彼は「ぼくはたいてい日曜日にひきます。これらの3本のギターはぼくものではありません。」と答えます。

① He replies,

○ He が S (主語)、 replies が V (動詞) です。

② "I usually play it on Sundays."

○ I が S (主語)、 play が V (動詞) 、 it が O (目的語) です。

○ usually は副詞です。「たいてい」という意味をもち、動詞 play を修飾しています。

○ on Sundays は修飾語で副詞のはたらきです。

「日曜日に」という意味をもち、動詞 play を修飾しています。

③ "These three guitars are not mine."

○ These three guitars が S (主語)、 are not が V (動詞)、 mine が C (補語) です。

○ 否定の not によって、 These three guitars = mine ではないことを示しています。

(Then), he says, “Oh, where is my new guitar?”
S V どこ V S

It's a present <from my father>.”
S V C

そして彼は「おや、ぼくの新しいギターはどこですか。父からのプレゼントです。」と言います。

① Then, he says,

- Then は副詞です。「それから」という意味をもち、文全体を修飾しています。
- he が S (主語)、says が V (動詞) です。

② “Oh, where is my new guitar?”

- my new guitar が S (主語)、is が V (動詞) です。
- where は「どこに」という場所をたずねる疑問詞で、この文では「ギターがどこにあるのか」をたずねています。

③ “It's a present from my father.”

- It が S (主語)、is が V (動詞)、a present が C (補語) です。
- from my father は修飾語で形容詞のはたらきです。a present を説明しています。

I ask him,
S V O

“When is your birthday?”
いつ V S

ぼくは「誕生日はいつですか。」と聞きます。

① I ask him,

○ I が S (主語)、ask が V (動詞)、him が O (目的語) です。

② “When is your birthday?”

○ your birthday が S (主語)、is が V (動詞) です。

○ When は疑問詞で、「いつ？」という意味をもちます。

He answers, “It’s May 15th.”
S V S V C

彼は「5月15日です。」と答えます。

① He answers,

○ He が S (主語)、answers が V (動詞) です。

② “It’s May 15th.”

○ It が S (主語)、is が V (動詞)、May 15th が C (補語) です。

○ it は前の文の your birthday を指しています。

I'm Yuki.
S V C

私はユキです。

- I が S (主語)、 am('m) が V (動詞)、 Yuki が C (補語) です。
- I = Yuki の関係です。

My favorite subject is English.
S V C

私のいちばん好きな科目は英語です。

- My favorite subject が S (主語)、 is が V (動詞)、 English が C (補語) です。
- My favorite subject = English の関係です。

How long do you study English (in a day)?
どれくらい長く S V O

あなたたちは、1日にどれくらい英語を勉強しますか。

- you が S (主語)、 (do ～) study が V (動詞)、 English が O (目的語) です。
- do は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- How long は「どれくらいの時間？」をたずねる疑問詞で、この文では動詞 study を修飾しています。
- in a day は修飾語で副詞のはたらきです。

「1日に」という意味をもち、動詞 study を修飾しています。

I study English (for an hour) (from Monday to Friday).
S V O

私は、月曜日から金曜日まで1時間、英語を勉強します。

○ I が S (主語)、 study が V (動詞)、 English が O (目的語) です。

○ for an hour は修飾語で副詞のはたらきです。

「1時間」という意味をもち、動詞 study を修飾し、「どれくらいの時間勉強するか」を説明しています。

○ from Monday to Friday は修飾語で副詞のはたらきです。

「月曜から金曜まで」という意味をもち、動詞 study を修飾し、「いつ勉強するか」を説明しています。

I don't study it (on Saturday or Sunday).
S V O

土曜日と日曜日には、私はそれを勉強しません。

○ I が S (主語)、 don't study が V (動詞)、 it が O (目的語) です。

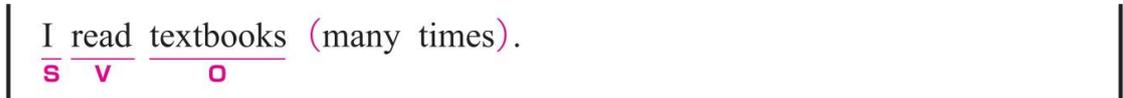
○ on Saturday or Sunday は修飾語で副詞のはたらきです。

「土曜または日曜に」という意味をもち、動詞 study を修飾し、「いつ勉強するか (しないか)」を説明しています。



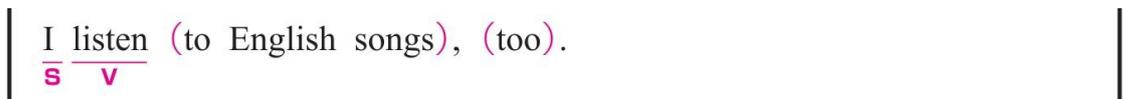
あなたたちはどんなふうに英語を勉強しますか。

- you が S (主語)、(do ～) study が V (動詞)、 English が O (目的語) です。
- do は助動詞で、主語の前に置くことで疑問文を形成します。
- How は「どのように」という方法をたずねる疑問詞で、この文では動詞 study を修飾しています。



私は何度も教科書を読みます。

- I が S (主語)、 read が V (動詞)、 textbooks が O (目的語) です。
 - many times は修飾語で副詞のはたらきです。
- 「何度」という意味をもち、動詞 read を修飾し、「どれくらいの頻度で読むか」を説明しています。



また、英語の歌も聞きます。

- I が S (主語)、 listen が V (動詞) です。
 - to English songs は修飾語で副詞のはたらきです。
- 「英語の歌を」という意味をもち、動詞 listen を修飾し、「何を聞くか」を説明しています。
- too は副詞です。「～もまた」という意味をもち、文全体を修飾しています。

Ms. Green is (from Canada).

グリーン先生はカナダ出身です。

- Ms. Green が S (主語)、is が V (動詞) です。
- from Canada は修飾語で副詞のはたらきです。

「カナダから」という意味をもち、動詞 is の場所を説明しています。

She teaches English (in Japan) (now).

彼女は今、日本で英語を教えています。

- She が S (主語)、teaches が V (動詞)、English が O (目的語) です。
- in Japan は修飾語で副詞のはたらきです。

「日本で」という意味をもち、動詞 teaches の場所を説明しています。

- now は時間を示す副詞です。「現在」という意味をもちます。

| She is going to go back (to her country) (during this summer vacation). |
S V

今年の夏休みの間、彼女は自分の国に戻るつもりです。

○ She が S (主語)、 is going to go back が V (動詞) です。

○ to her country は修飾語で副詞のはたらきです。

「彼女の国へ」という意味をもち、動詞 is going to go back の目的地を説明しています。

○ during this summer vacation は修飾語で副詞のはたらきです。

「この夏休みの間に」という意味をもち、動詞 is going to go back の時間を説明しています。

| She has many plans <for it> . |
S V O

彼女にはそのためのたくさんの計画があります

○ She が S (主語)、 has が V (動詞)、 many plans が O (目的語) です。

○ for it は修飾語で形容詞のはたらきです。

「そのための」という意味をもち、 many plans を説明しています。

She is going to get (to Canada) (on August 10), and have a party
S V V O
(with her friends) (the next day).

彼女は8月10日にカナダに到着する予定です。そして、次の日に友達とパーティーをする予定です。

○ この文は、and によって2つの節が結ばれています。

○ 1つ目の節は She が S (主語)、is going to get が V (動詞) です。

○ to Canada は修飾語で副詞のはたらきです。

「カナダに」という意味をもち、動詞 get の目的地を説明しています。

○ on August 10 は修飾語で副詞のはたらきです。

「8月10日に」という意味をもち、動詞 is going to get の日付を説明しています。

○ 2つ目の節は have が V (動詞)、a party が O (目的語) です。

省略されていますが、She が S (主語) です。

○ with her friends は修飾語で副詞のはたらきです。

「友達と一緒に」という意味をもち、誰とパーティーをするのかを説明しています。

○ the next day は修飾語で副詞のはたらきです。

「その次の日に」という意味をもち、動詞 have の時間を説明しています。

Her family lives (near the sea).
 S V

彼女の家族は海の近くに住んでいます

- Her family が S (主語)、 lives が V (動詞) です。
- near the sea は修飾語で副詞のはたらきです。

「海の近くに」という意味をもち、動詞 lives の場所を説明しています。

So, she is going to swim (in the sea) (during the vacation)
 S V

(with her family).

だから、彼女は休暇中に、家族と海で泳ぐつもりです。

- she が S (主語)、 is going to swim が V (動詞) です。
- in the sea は修飾語で副詞のはたらきです。

「海で」という意味をもち、動詞 swim の場所を説明しています。

- during the vacation は修飾語で副詞のはたらきです。

「休暇中に」という意味をもち、動詞 swim の期間を説明しています。

- with her family は修飾語で副詞のはたらきです。

「家族と一緒に」という意味をもち、誰と泳ぐのかを説明しています。

Let's check the weather.

V O

天気を確認しましょう。

- Let's check が V (動詞)、 the weather が O (目的語) です。
- Let's は動詞 Let と 目的語 us の短縮形ですが、ここでは、「一緒に～しよう」という意味の、提案型の命令文をつくる動詞の一部と考えます。

It is (mostly) sunny (in Tokyo) (now).

S V C

今の東京は主に晴れです。

- It が S (主語)、 is が V (動詞)、 sunny が C (補語) です。
- It は、ここでは具体的な意味をもたず、主語の位置を埋めるために使われます。(形式主語)
- mostly は副詞です。「ほとんどは」という意味をもち、補語 sunny の程度を説明しています。
- in Tokyo は修飾語で副詞のはたらきです。
「東京で」という意味をもち、天候がどこで起きているかの場所を説明しています。
- now は副詞です。「今」という意味をもち、時間を説明しています。

|(On Saturday), it will be (mostly) cloudy.|

土曜日は、主に曇りでしょう。

- it が S (主語)、 will be が V (動詞)、 cloudy が C (補語) です。
- It は、ここでは具体的な意味をもたず、主語の位置を埋めるために使われます。(形式主語)
- mostly は副詞です。「ほとんどは」という意味をもち、補語 cloudy の程度を説明しています。
- On Saturday は修飾語で副詞のはたらきです。「土曜日に」という意味をもち、時間を説明しています。

|Today's low will be 8 degrees, and the high will be 18 degrees.|

今日の最低気温は8度、最高気温は18度でしょう。

- この文は2つの節で構成され、and によって結ばれています。
- 第1の節は、Today's low が S (主語)、 will be が V (動詞)、 8 degrees が C (補語) です。
- 第2の節は、the high が S (主語)、 will be が V (動詞)、 18 degrees が C (補語) です。

This Sunday will be sunny (in the morning),
S V C

but cloudy (in the evening), and rain will begin (late in the evening).
C S V

今週の日曜日は、朝は晴れますが、夕方には曇り、夜遅くには雨が降り始めるでしょう。

- この文は3つの節で構成され、but と and によって結ばれています。
- 第1の節は、This Sunday が S (主語)、will be が V (動詞)、sunny が C (補語) です。
 - in the morning は修飾語で副詞のはたらきです。

「午前中に」という意味をもち、動詞 will be の時間を説明しています。
- 第2の節は、cloudy が C (補語) です。
 - in the evening は修飾語で副詞のはたらきです。

「午後に」という意味をもち、動詞 will be の時間を説明しています。
- This Sunday will be cloudy in the evening. から主語や動詞が省略された形です。
- 第3の節は、rain が S (主語)、will begin が V (動詞) です。
 - late in the evening は修飾語で副詞のはたらきです。

「夕方遅くに」という意味をもち、動詞 will begin の時間を説明しています。
- 全体として、but によって午前、午後を対比し、and によって情報を追加しています。

The low will be 9 degrees, and the high will be 20 degrees.
S V C S V C

最低気温は9度、最高気温は20度でしょう。

- この文は2つの節で構成され、and によって結ばれています。
- 第1の節は、The low が S (主語)、 will be が V (動詞)、 9 degrees が C (補語) です。
- 第2の節は、the high が S (主語)、 will be が V (動詞)、 20 degrees が C (補語) です。

It will rain (all day) (on Monday).
S V

月曜日は1日中雨が降るでしょう。

- It が S (主語)、 will rain が V (動詞) です。
- It は、ここでは具体的な意味をもたず、主語の位置を埋めるために使われます。(形式主語)
- all day は修飾語で副詞のはたらきです。

「一日中」という意味をもち、動詞 will rain の時間を説明しています。

- on Monday は修飾語で副詞のはたらきです。

「月曜日に」という意味をもち、動詞 will rain の時間を説明しています。

The low will be 10 degrees, and the high will be 19 degrees.
S V C S V C

最低気温は10度で、最高気温は19度でしょう。

- この文は2つの節で構成され、and によって結ばれています。
- 第1の節は、The low が S (主語)、 will be が V (動詞)、 10 degrees が C (補語) です。
- 第2の節は、the high が S (主語)、 will be が V (動詞)、 19 degrees が C (補語) です。